

# 西中だより

学校教育目標

目指す生徒像：豊かな心と学ぶ意欲を持ち、たくましく生きる生徒

目指す学校像：すべての生徒に喜びと感動を育み、笑顔あふれる西中学校

川口市立西中学校

〒332-0028

川口市宮町16-1

Tel 048-253-1231

Fax 048-251-6792

令和5年7月3日発行

「学び」、「修める」自分の旅はいつまでも

校長 三浦 伸之

先月の6月2日から3日にかけて、西日本と東日本の太平洋側で相次いで線状降水帯が発生し、記録的な大雨となりました。翌日の4日に修学旅行の出発を控えていた本校にとっては、甚大な被害を受けた各地の様子が報道される中、心配な日々が続きましたが、無事に2泊3日の修学旅行を終えることができました。

「校長先生は毎年修学旅行に行っていて、飽きたことはないですか。」という質問をくれた生徒がいました。答えはもちろん、飽きたことは一度もありません。行き先は毎年同じ場所ですが、一緒に行く生徒たちは毎年変わります。生徒たちと一緒にいく修学旅行が楽しみだからかもしれません。

修学旅行の一日目の最後の見学地は薬師寺でした。有名な国宝があり、世界文化遺産に登録されている薬師寺は見どころがいっぱいですが、修学旅行で訪れる薬師寺の楽しみのひとつにお坊さんの説法があります。

この説法の最初に「奈良で一番有名なお寺はどこですか？」というお約束の質問がありました。「東大寺！」と答える生徒たちに、「今、君たちがいる場所はどこだ。」「空気を読みなさい。」などと問いかけて、「薬師寺！」と答えるまでお坊さんは粘り続けます。

薬師寺についての説明の後、お坊さんは生徒たちに「修学旅行、何をしに来たのですか。」と問いかけました。生徒から「楽しみに来た！」との答えにお坊さんは「それは違う。修学旅行は『学び』を『修める』と書く。修学旅行はわざわざそこまで行かなければ見られないもの、そこだけでしか見られないものを実際に見て学ぶもの。だから、わざわざ奈良や京都に来たのではないか。」と話されました。

「今は何でも教えてもらっている。これから高校、大学に進学しても教えてくれ人がいて教えてもらう。社会人になっても最初の3か月くらいは研修でいろいろと教えてくれるかもしれない。しかし、それ以上は誰も教えてはくれない。大切なのは、自分で学ぶ力を身に付けておかなければならない。社会に出たらそのような人材が求められている。当たり前なことは100%できて当たり前。求められる人材になるためには、100%以上のことを自分で学んで身に付けなければならない。何も自分で学ばないで、自分の思い通りの人生が歩めないのは自分の責任。自分で学び、自分に修める力を是非とも身に付けてください。」と厳しくも、未来を担う生徒たちへの熱い思いが込められた説法でした。

生徒たちが言った「楽しみに来た！」は決して間違えた考え方ではないと思います。ただし、本来の目的を見失ったままではいけないということなのではないでしょうか。

修学旅行実行委員長のしおりの言葉に「修学旅行には『学ぶ』『修める』という文字が入っています。」という一文がありました。薬師寺のお坊さんの説法の前に、すでに本校の実行委員長が述べていました。流石です。

6月に行われた川口市学校総合体育大会では、サッカー一部、柔道部（男女団体戦、男女個人戦）、バレーボール部（男子）、ソフトテニス部（女子団体戦、男子個人戦）の県大会出場が決定しました。連日、各会場には多くの保護者の皆様に応援に駆けつけていただきました。感謝申し上げます。惜しくも敗退となった各部、生徒たちの健闘を讃えたいと思います。これまでの部活動で得た貴重な経験をこれからも大切にして欲しいと思います。

